

教育通信

26年度 第7号
通巻1829号

発行所：
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは
↓こちらから



3日間で感じた高知の魅力をそれぞれの学校に持ち帰り、子どもたちにも伝えていきたいと思います。(青年部・田崎恵太)

お城下

ここ数年、夏が終わればすぐ冬になると言われるほど、厳しい暑さが続いていた。今年は久しぶりに、落ち着いた秋が訪れたように感じる。爽やかな秋晴れと心地よい秋風に、懐かしささえ覚える▼秋といえば、芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋、そして文化の秋。さまざまな楽しみ方がある▼新高梨や戻りガツオなど、高知の旬の食材の食欲の秋も。でも、夜長を楽しむなら、やはり読書の秋。珈琲を片手に本の世界に浸る時間は、まさに至福のひとつときである▼しかし、その「ひととき」を持つことさえ難しい教職員も多いのでは？退勤時間を過ぎても仕事を続け、帰宅してからも持ち帰った仕事に追われる。心身ともに疲れ果ててしまう▼過酷な労働環境の改善が第一なのはもちろんだ。それでも、まずは週に一度でも定時に退勤し、自分のための時間を意識して作ってみてはどうだろうか。(森)

青年部企画「ザ・高知を遊ぶ」

高知の魅力を仲間と満喫

9月19日から21日の3日間、高知県教組青年部の企画「ザ・高知を遊ぶ」を開催しました。この企画は、「高知県でやってみたいことを思いっきり楽しもう！」を合言葉に、青年部の仲間アイデアを出し合い、高知の自然や地域の魅力を満喫することを目的に実施したものです。

高知県東部の東洋町・馬路村を中心に巡りました。

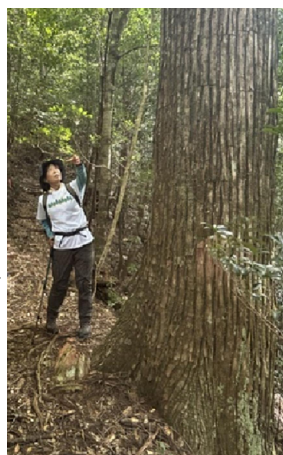
東洋町では、みんなで川に入り、魚や小エビ、モクズガニなどを捕まえ、自然の中で思い切り遊びました。現地の方には道具を貸していただいたり、モクズガニがとれるポイントを教えていただいたりと、地域の方の力を借りながら川遊びを楽しみました。普段の生活ではなかなか味わうことのできない開放感に、参加者からも自然と笑顔がこぼれました。

梁瀬ダム湖を一望できるキャンプ場で、自然を感じながらバーベキューを楽しみ、仲間との交流を深めました。普段の仕事から離れ、仲間とゆっくり語り合う時間も、青年部のつながりを深める大切な機会となりました。

3日目には、地域の方に千本山をガイドしていただき、千本杉を目指して登山に挑戦しました。森林鉄道跡を見ながら、かつての林業の歴史について話を聞いた名前をつけたりしながら、童心に帰って楽しみました。豊かな森林の中を歩き、地域の自然や林業について学びながら、目的の地にたどり着いたときには、大きな達成感を味わうことができました。

3日間を通して、高知の豊かな自然だけでなく、地域の方々とのかれあいを通して、地域のあたたかさにも触れることができました。日頃の仕事から離れ、仲間とともに過ごすことで、心身ともにリフレッシュする時間にもなりました。

今回の企画は、青年部の仲間や地域の方々との「つながり」があつてこそ実現したものです。楽しい体験だけでなく、地域の自然や林業について学びながら、目的の地にたどり着いたときには、大きな達成感を味わうことができました。



馬路村では、魚

梁瀬ダム湖を一望できるキャンプ場で、自然を感じながらバーベキューを楽しみ、仲間との交流を深めました。普段の仕事から離れ、仲間とゆっくり語り合う時間も、青年部のつながりを深める大切な機会となりました。

3日目には、地域の方に千本山をガイドしていただき、千本杉を目指して登山に挑戦しました。森林鉄道跡を見ながら、かつての林業の歴史について話を聞いた名前をつけたりしながら、童心に帰って楽しみました。豊かな森林の中を歩き、地域の自然や林業について学びながら、目的の地にたどり着いたときには、大きな達成感を味わうことができました。

3日間を通して、高知の豊かな自然だけでなく、地域の方々とのかれあいを通して、地域のあたたかさにも触れることができました。日頃の仕事から離れ、仲間とともに過ごすことで、心身ともにリフレッシュする時間にもなりました。

総合共済加入 キャンペーン実施中！

12月までに加入の方に

3000円のQUOカード進呈中！

通常1000円。

なんと3倍！

月々600円の掛け金の全教共済の総合共済では、結婚祝い金(1万円)や出産祝い金(5千円)などお祝い金・自然災害や火災などのお見舞い金に加え、退職時には掛け金合計相当額の退職・退会給付金も受け取れます。

*詳しくは県教組HPのチラシをどうぞ。

高知県の高校の理想的な在り方を求めて 県教委に高教組が要望書を提出！

国は今、「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）」「ネクストハイスクール構想」を打ち出し、高校改革を進めようとしています。政府の「日本成長戦略」の中で、企業等に都合の良い人材育成を進めるものです。しかし、これが本当に高知県のためになるのでしょうか。高教組が、慎重な検討を求める要望書を県教委に提出しました。

今年2月、「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）」「ネクストハイスクール構想」が国から示されました。簡単に言えば、これからの高校教育をどのように変えていくのか、その方向を国が示したものです。同じ時期に、その改革を具体的に進めるための「高等学校等教育改革促進事業」も始まりました。国は、各都道府県に改革の中心となる高校を3、4校程度つくり、国から大きな財政支援（上限62億円）を行

う仕組みをつくりました。高知県では、高知小津高校、高知農業高校、高知東高校の3校が採択され、合わせて最大47・1億円の支援を受けることになっています。では、なぜ国はこれほど大きなお金を高校改革に投入するのでしょ

うのでしょうか。その背景には、「これから日本の産業を支える人材を高校段階から育てたい」という考えがあります。7月に閣議決定された国の「日本成長戦略」では、これから発展させたい産業や技術の17分野を示し、企業や大学、自治体など

と協力して人材を育てようとしています。「グランドデザイン」も、この流れの中に位置づけられています。つまり、これからの高校では、地域や企業、大学などとの連携、探究学習、ICTの活用、専門的な人材育成などが、これまで以上に重視されることになり

ます。しかし、本来あるべきは「高校教育は何のためにあるのか」という視点です。教育基本法第1条には、教育の目的として「人格の完成」が掲げられています。これは、単に就職に役

立つ知識や技術を身につけるだけではなく、一人ひとりが自分で考え、学び、社会の中で生きていく力を育てることです。しかし、「グランドデザイン」では、この「人格の完成」という教育の基本的な目的が前面に出ていません。産業に必要な人材を育てることだけが強く

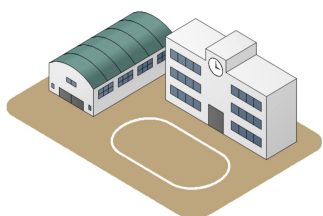
なれば、教育が「人を育てること」から「人材をつくること」に変わってしまう心配があります。「グランドデザイン」は、これまでの「教育改革」とは異なり、「人材育成システム改革」です。これが、過疎地域も含めた地域の文化を担う高知県の高校のあり方としてふさわしいものなのでしょうか。この改革は高校だけの問題ではありま

せん。高校で求められる力が変われば、中学校や小学校での学びにも影響してきます。今、作業が進んでいる学習指導要領改訂も、「個に応じた指導」「個別最適な学び」というフレーズに隠されて「Soft Skills」(超スマート社会)に適応する「人材育成」が目指されています。そこには、パソコンなどを操るスキルの習得はあっても、「人格の完成」はありません。

高校入試についても、「これまでの学びやさまざまな経験を評価する、多面的な入試」への変更が示されており、今後、入試の仕組みが変わる可能性があります。さらに、国は2026年度中に、各都道府県に2040年までの「高等学校教育改革実行計画」をつくることを求めています。高知県でも、現在の「県高校振興再編計画」と新しい改革計画をどのように組み合わせるのか

が検討されています。高知県には、都市部だけでなく、中山間地域や小規模校もたくさんあります。企業や大学との連携、大きな予算、外部人材などを活用できる学校と、そうした条件が少ない学校との間で、教育環境の差が広がることも心配されます。学校の統廃合につながる可能性もあります。

高知県の子どもたちにとって大切なことは、国が示した改革をそのまま進めることではなく、「高知県の子どもたちにとって本当に必要な教育とは何か」という視点です。高校だけでなく、小・中学校を含め、すべての子どもが、家庭や地域の状況に左右されずに安心して学び、「人材」ではなく「一人の人間」として「完成」を目指しつつ、自分の将来を自分で選べるような教育を保障することが重要です。前述の通り、高校教育改革は、高校の先生だけの問題ではありません。小学校から高校までの教育がどのようにつながっていくのか、そして「子どもを育てる教育」をどう守っていくのかという、すべての教職員に関わる問題として考えていく必要があります。高教組では、「実行計画」の策定にあたり、「グランドデザイン」の問題点や計画実行に伴う教職員の業務量増加につながることを踏まえた要望書を県教委に提出しました。現場から高校改革に対する声をあげましょう。ぜひ高知県教組・高教組にあなたのご意見をお寄せください。(4面・QRコード参照)





「沢山の仲間がいる」

それが勇気に!

全教が9／12に全国交流集会

9月12日(土)に東京で行われた「全教ニューウェーブ～なかまづくり・職場づくり～全国交流集会」に組合加入2年目のSさんと一緒に参加してきました。全体会では、全教・組織情宣局長の山本乃里子さんの基調報告に続いて、「アーリー・プロジェクト」のとりくみから得たもの」と題してトークセッションが行われました。「アーリー・プロジェクト」とは、ロサンゼルス教員組合が2019年にストライキに立ち上がったときのことを記録したドキュメンタリー映画を上映する運動のことです。近く、近畿ブロックが共同上映し、都で上映したと知り、報告があり、みにはこの映画「When We Fight」が実際に上

映され、教員組合と保護者と生徒たちが共同してストを行い、学級規模の縮小、看護師全校配置、週統一学力テストの廃止、昇給などの諸要求を勝ち取ったこと感動的な闘いを学ぶことができました。午後からは2つの分科会に参加しました。1つ目は「集まれば元気!」分科会、和歌山県教組青年部のとりくみが報告されました。和歌山県青年部では学習やレクなど自分たちのやりたい活動を生き生きととりくまれており、タイトル通り元気がもらえる内容でした。2つ目の分科会は「対話に踏み出そう」で、千葉県教組のとりくみが報告されました。対話のハードルを下げるためにとりくまれていた様々な工夫を紹介してもらいました。「対話II」拡大の話と捉えるのではなく、雑談で十分」との提起は、気持ちを軽くさせてくれました。閉会集会で初参加

の山梨の方の「一人」で初参加して心細かったが、全国にこんなにかくさんの仲間がいることが分かって勇気づけられた。次は私が仲間を連れて参加したい!」との発言に大きな拍手が広がりました。これまで青年部の活動になかなか参加できてなかったSさんも、全国の様々なとりくみにふれ、大いに刺激を受けたようでした。

(県教組副委員長
小田原典寿)

高知城ホール教育相談所をぜひご活用下さい。

学校のこと・子育てのこと、授業のこと・生徒指導のことなど、様々な相談に、教職経験者が応じています。秘密厳守・匿名相談OK、お気軽にご相談ください。

☎088-873-0245
月～土 14時～18時

高知市丸ノ内2-1-10

高知城ホール1F (来所もOK)

★今回、チラシを学校1枚で同送しています。

教職員のための自動車保険は



全教自動車保険

教職員と家族を守って36年

WEBでかんたん
見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を⇒

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

賃金・待遇改善署名にご協力下さい!

国家公務員の賃金については、8月に人事院勧告が出され、平均月額1万5千円あまり(3.51%)・一時金年間0.05月引上げ(平均で2万円弱)の引上げが勧告されています。私たち地方公務員は、これがそのまま適用されるのではなく、10月20日前後に出される高知県人事委員会勧告(以下、県勧告)で、どのようにするのか勧告されます。高知県教組・高教組では、9月30日に県人事委員長と話し合いをするなど、生活改善・教職員の待遇改善に向けて要求実現を目指して運動を行っています。

県勧告の後、高知県教組・高教組では、県教委と賃金労働条件確定交渉を行います。県勧告の不十分な点なども伝え、高知県の教育課題解決のために教職員の待遇改善などを求めます。その交渉の際に、今城純子県教育長に現場の声として、今回同送しました「賃金・労働条件改善署名」を提出する予定です。一筆でも多くの声を集め、現場の願いを示したいと思っています。★職場でご署名の後、11月5日頃までに県教組に(同送の封筒等で)ご返送ください。

高知県内にある道の駅巡り ⑦

1	2	3	4	5	6
7					
8					
9		10		11	
12				13	14
15			16		

【タテのカギ】

1. 漁具の一つ。岸からさほど遠くない海に垣根のように大きな網を張り、魚を捕らえるもの。高知県ではかつて盛んだったが、最近では少なくなった。
2. 通常考えられるよりも際立って多い人数
3. 比べられるものがないくらいに優れていること。
4. らりるるろ
5. 山中にある、源流に近い谷川
6. 蚕の繭から取ったままの糸
10. 良いと思われる

点

11. 美の原理などを研究する学問
14. 和食の一つ。回転しない店で、たまには食べたいな。
1. 黒褐色の羽に白と黄色のまだらがあふ大型のチョウ。日本の国蝶。
7. 大勢の人が押しかけて混雑していること。
8. 乗算。〇〇が8
9. 一般常識クイズ、火曜日の10日後は何曜日?
12. 読めるかな「梓」
13. 何かから生じて、空中に漂っている

【ヨコのカギ】

11. 美の原理などを研究する学問
14. 和食の一つ。回転しない店で、たまには食べたいな。
1. 黒褐色の羽に白と黄色のまだらがあふ大型のチョウ。日本の国蝶。
7. 大勢の人が押しかけて混雑していること。
8. 乗算。〇〇が8
9. 一般常識クイズ、火曜日の10日後は何曜日?
12. 読めるかな「梓」
13. 何かから生じて、空中に漂っている

気体。
15. くつつきワード
う〇〇、み〇〇ち、〇〇ち
16. 他人のやるな
いことを努力してやり抜こうと思つたり、社会事業などを熱心に後援すること。

ります。

【8月号の当選者】

「美良布(びらふ)」
(香美市)でした。
抽選の結果、次の3名の方が当選されました。おめでとうございませう。

イズやんさん
(野市東小)
じいじさん
(下田小)
もっちゅりんさん
(西土佐小)

【みなさんの声より】

〇2ヶ月の病休後の講師をしています。年休は、閉庁期間で消えるので夏休み中も毎日勤務です。(休むためには閉庁期間に勤務。)有り余る年休を消化できずに退職したのに、あの年休、返してもらえないかなあ、。
〇「本当に困っています。もう☆☆さんしかいません。」という昔同僚で、今年校長さんになった後輩からの電話で、6月23日から8月3日まで※※小学校に勤務。任期中に同様の業務。お声掛けがあつて8月4日から□■小学校に勤務して、

校に勤務しています。退職(再任用1年)からあと、じいじとして8人の孫との時間を楽しんでいました。2年以上空いての現場復帰は、複式担任だったこともありましたが、「子どもたちと過ごすのはやっぱりいいな。」です。ほんとに可愛らしい子どもたちで、涙涙でお別れした1学期末でした。もちろん、□■小学校の子どもたちとはまだ正式には出会っていませんが、どんな2学期になるか、楽しみにしています。それにしても退職された方が臨時で勤務している学校の多いことには改めてびっくり。研修会などで知り合いの先輩方に何人お会いしたことがあります。どの学校も電話をかけまくってやつとたどり着いて、のようです。わたしが現役の最後の頃もそうでしたが、拍車がかかっている感じがしますし、少人数の職場に何人も臨時という学校が多いです。

いすね。
〇去年の模擬面接練習に参加させていただき、無事合格することができました。その節はありがとうございました。ございました。
〇ICTやAIが全盛の今日この頃。確かに便利ですが、研修会やアンケート、提出物がやたら多くなり、楽になるどころか多忙感が増している気がします。AIが作成した文章を流し読みする自分。なんだろなあ、。
〇いよいよ2学期がスタートしました。久しぶりに会う生徒に、胸が踊ります。お互い、健康に気をつけ、頑張っていこうね。
〇1年生たちは初めての行事がたくさん待っていて、2年生は修学旅行、3年生は進路に向けて本格的に動く時期になりました。みんなソワソワとしてはいますが日々頑張っています。

見事なサイズの鮎を串刺しにし、ヒレを伸ばし、たつぷりと塩を振って炭火焼きに。「血が出た」「骨がグキグキ鳴る」「何かかわいそう」と少々戸惑い気味でしたが、命をいただくことを実感した瞬間だったのではないかと感じました。焼き上がるまでの間には、クイズ。スイカやキュウリの香りがすることから「香魚」、銀色の立派な口をしていることから「銀口魚」等と様々な表記があること、エラの横の黄色の斑点には、天然の縄張り争いに強い個体ほど濃いことなどなど、多くの知識を得ました。仕上げは焼きたての鮎の試食。「もう1本食べたーい!」と唸るほど美味な、ホクホクの鮎を頬張って、大満足の体験を終えました。

メールはこちら

